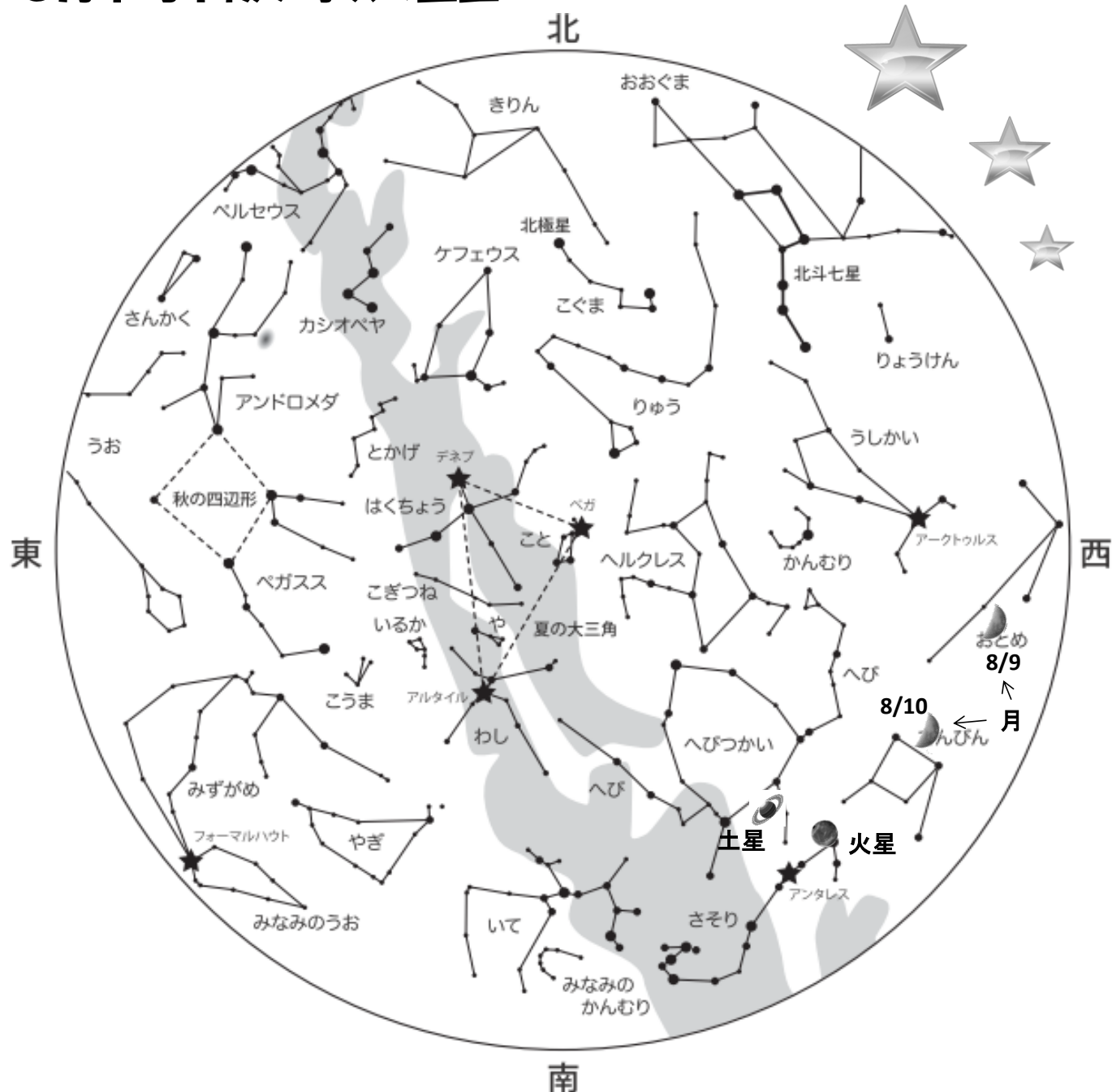


松江市立天文台～夏休みの天文教室～

平成28年8月9.10日

8月中旬午後9時頃の星空～



南の空にはひとときわ赤く輝く火星が見えています。そのすぐ左側で同じように赤く見えるさそり座のアンタレス、みごとな輪を持つことで有名な土星で、この時期だけ小さな三角形をつくります。夏の星空を代表する夏の三大角にも注目です。三つの星のうち、二つは七夕の星でもあります。この機会に数々の物語に彩られた夏の星を、ぜひ覚えてください。

8月中旬午後9時頃の星空です。

火星と土星は8月上旬の位置を、月は8月9日と10日の両方の位置を示しています。

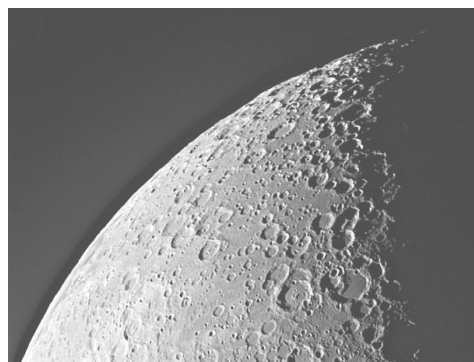
各天体の見かけの大きさは強調してあります。

この星図で星を探るときは、見る方角を下にしてみましょう。

地球の仲間~月

月は地球からの距離が約38万キロ、地球の周りを約27日でまわっています。天体望遠鏡でクレーターのある雄大な表面地形を観察することができます。

月には、新月、三日月、上弦の月、満月など、その形により色々な呼び名がつけられており、私たちの生活や文化にかかわりの深い天体です。



太陽系の仲間たち~惑星

衛星(えいせい)タイタン

土星



土星は直径約12万キロ(地球の約9.5倍)もある巨大な惑星です。

美しいリングの正体は、数mmから数10cmの氷や岩石で、リングの厚さは数百mとされています。すこし離れて土星最大の衛星タイタンも見られます。

火星



火星は直径約6千7百キロ(地球の約半分)、地球のすぐ外側を回る惑星です。

5月末に地球に最接近しました。

夏の大三角

こと座のベガ
(おり姫星)

はくちょう座のデネブ

二重星アルビレオ

はくちょう座にある代表的な二重星で、オレンジ色と、青色の対比が美しく、空の宝石とも言われています。

わし座のアルタイル

天体望遠鏡で見たM27

夏の大三角は、夏を代表する三つの一等星が作る三角形です。

こと座のベガは七夕のおり姫星、わし座のアルタイルは彦星としても有名です。

M27

星が一生を終えて、表面のガスが広がって丸く惑星のように見える星雲を、惑星状星雲といいます。

M27はその代表的な天体のひとつで、私たちから970光年の距離にあります。

小型の天体望遠鏡でも、夜空に浮かぶ雲のように見え、その形から、あれい状星雲と呼ばれます。

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

9月の天文教室

開催日 9月14日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会